

## 月見橋について



### ① 月見橋の場所について



### ② 月見橋の歴史

月見橋は“岡山市の後楽園と岡山城を結び旭川に架けられた歩行者、自転車専用の観光橋。全長115.2m、幅員3m、ゲルバー式。岡山市が岡山城で博覧会を開催する際、後楽園との間を短絡する橋がほしいとの話が持ち上がり、1954年（昭和29）7月21日に完成した。”（岡山県大百科事典より）すでに完成から65年ほど経過し、過去3回、塗り替えは行われたものの、洋風のゲルバー式の鉄鋼の橋が現在も架かり続けている。岡山市の2018年2月定例会において、“架け替えを目標に住民意識についても十分な調査を行い、専門家を交えて歴史や文化等の考え方の基盤部分をしっかりと押さえた上で架橋場所、デザインや工法について進めていただきたい”との質問がでるなど、機運が高まっていたが、現在はその話も縮小している。2019年3月に老朽化の点検結果が公表され、岡山市より通行に問題なしとの結論が出された。

③ 城と橋について

橋がその景観に合うものであれば、橋自体も観光スポットにすることができ、さらに城との調和と相まって、相乗効果で周辺一体の盛り上がりも図ることができる。

長野県の松本城、岐阜県の墨俣城は城のふもとに架かる橋と回りの木々とも相まって絶好の写真スポットにもなっている。

松本城



墨俣城



④ 日本三大名橋について

日本には名橋と呼ばれるものが数多くある。今回は日本の三大名橋を紹介する。

城だけでなく、橋が街と一体となり、多くの観光客が街を橋を訪れている。

錦帯橋 山口県岩国市



1673年に吉川広嘉により建造された。しかし1950年台風により流出、1953年に再建が完了。2005年に台風により一部流出したものの、復旧工事が行われ、今にいたる。

全長193.3m、幅員3mの木造アーチ橋。毎年60万人以上の観光客が訪れる。

眼鏡橋 長崎県長崎市



1634年黙子如定により建造された。1982年の長崎大水害により半分程度が損壊したが、流出は免れ、復旧工事が行われ、今にいたる。

全長22m、幅員3.65mの石造アーチ橋。眼鏡端周辺の堤防にはハート型のストーンが埋め込まれており、観光客誘致に一役買っている。

日本橋 東京都中央区



1603年に初代が木造として完成し、現在のものは1911年に架けられた19代目。東京大空襲でも残り、今にいたる。

全長49.1m、幅員27.2mの石造アーチ橋。国の重要文化財に指定され、1911年に架けられた際は、日本国道路の元標とされていた。

#### ⑤月見橋について

現在、岡山城と後樂園を結ぶ絶好の場所にある月見橋。

日本三大名橋のように歴史はないものの、現在あるその3つの橋は、1900年代に再建されたものであり、その時期を見れば、月見橋より後に造られたものもある。

観光地として魅力作りを行い、今まで以上に岡山市民からも愛される地域とするために、岡山城周辺エリアの城と橋について思いを馳せましょう。